

## コロナ対応を踏まえた避難所の開設

今回の豪雨では、市内77カ所の避難所を開設し(一時避難所を含む)、582世帯1,273人の方が避難しました。

避難勧告や避難指示などに際しては、町内会長や民生児童委員、消防団員や施設管理者など多くの地域の皆さんの助け合いにより、誰一人として命を落とすことなく避難することができました。

また、今回、避難所では検温などの体調確認や密にならないよう一定の間隔を開けた居住スペースの確保、体調の悪い方を別室に区分けするなど、新型コロナウイルス感染症予防に対応した避難所の運営を行いました。



避難所のおようす(燦燦朝日館)

## 土砂崩れなど各地で被害が発生

断続的に降り続いた豪雨により、市内各所で被害が発生しました。7月17日時点における被害状況は次のとおりです。

- 住宅半壊 6件
- 住宅一部破損 6件
- 床上浸水 15件
- 床下浸水 51件
- 非住家(事業所など)被害 18件
- 公共施設被害 8件
- 農地・農業用施設被害 181件
- 道路・河川・橋りょう被害 523件
- 山地被害 6件
- 上下水道被害 375件
- 公園被害 6件
- その他被害 10件



土砂崩れで被害を受けた飛驒高山スキー場

## 多くの「ご支援をいただきました

飛驒市・白川村・郡上市からの災害見舞金のほか、市内事業者からも多数の寄付がありました。寄付金は、災害の復旧のために活用させていただきます。



都竹市長(飛驒市)と成川村長(白川村)からの寄付



目置市長(郡上市)からの寄付

## 国に早期復旧を要望

自民党の鈴木総務会長に7月20日、豪雨災害の早期復旧に対する支援を要望しました。

○JR高山本線の早期全線復旧の促進

○国道41号の早期全線復旧の促進

○道路・河川等の災害復旧事業の促進

○気候変動を踏まえた災害に強い河川整備の促進

○災害に強い道路整備とネットワーク構築の促進

○強靱かつ持続可能な電気供給体制確立の促進

○国土強靱化のさらなる推進



自民党鈴木総務会長に要望書を提出

問合 危機管理課 ☎35-33345